

授業作り	重 点	一人ひとりが伝えたい思いや考えをもち、適切に表現する力を高めることができるように、課題を的確に捉え、主体的に考えることができる授業を工夫する。
環境作り		多様な交流の場を設定し、相互評価等、児童相互を通して良さを認め合い高め合う活動を工夫し、支持的風土を醸成する。

■ 学年の取組について 年度末評価の結果を、左の欄にまとめました。

学 年	本年度の成果と課題 (各種調査から)	学校が取り組む目標 (日常の授業の様子から)	目標達成のための取組
1 学 年	<p>【国語】</p> <p>○物語文や説明文を読む際、姿勢や口形、発声、発音に注意して繰り返し指導したことで、読む力が高まっている。</p> <p>○繰り返しの文字練習（ひらがな・カタカナ・漢字）を通し、丁寧に書く力や基本的な力が定着してきている。</p> <p>●作文を書く際に、「は」「を」「へ」を間違えてしまったり、句読点やかぎかっこが書けていなかったりする児童がいるので、継続的な指導が必要である。</p> <p>【算数】</p> <p>○加減計算の式の表し方や計算の仕方は、繰り返しの練習によって、理解が深まっている。</p> <p>●文章題では問題の読み取りが正確にできておらず、立式を間違える児童がまだ見られる。図を使って考えを整理させ、繰り返し取り組ませていく必要がある。</p>	<p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・姿勢や口形、発声、発音に注意して話すこと。 ・字形に気を付けて、文字を丁寧に書くこと。 ・日々の出来事や感想を記録する。 <p>【算数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10の補数がすぐに分かるようになること。 ・加減計算の式の表し方や計算の仕方を考え、計算すること。 	<p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①音読するときの姿勢図を活用した指導 ②母音の口形、発音、発声の反復練習 ③鉛筆の持ち方や姿勢の声かけと、平仮名・片仮名・漢字の手本を活用した指導 ④主語と述語の関係を意識させ、事柄の順序に沿った簡単な作文指導を行う。 <p>【算数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①具体物や半具体物を用いた操作活動の計画的設定 ②授業内に習熟の時間を設定（ベシックドリルを活用） ③家庭学習による継続的な計算練習・ドリルの活用
2 学 年	<p>【国語】</p> <p>○読むことの学習で、サイドライン等を確実にし、言葉に着目し、理解したり想像したりしたことで読む力を伸ばすことができた。</p> <p>○話し合いの仕方の指導を行ったことで、話したり聞いたりする力を伸ばすことができた。</p> <p>●教科総合、基礎、応用ともに区の平</p>	<p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文字の特徴を捉えて正しく丁寧に書くこと。 ・文章の内容を理解し、叙述をもとに自分の考えを書くこと。 ・自分の考えを相手に伝えたり、話の中心に気を付けながら、大事なことを落とさずに聞いたりすること。 	<p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 確かめや復習、再テストなどによる継続的な学習時間の設定（ベシックドリルを活用） ②叙述から自分の考えを引き出すためのワークシートの使用 ③メモの取り方の指導や、小グループでの話し合い活動の設定

	<p>均を1～3ポイント下回っている。</p> <p>●知識の定着を図る必要がある。</p> <p>【算数】</p> <p>○計算練習や復習の時間を確保したことで、基礎的な計算能力を定着させることができた。</p> <p>●教科総合、基礎、応用ともに区の平均下回っている。特に応用については、4ポイント下回っていた。</p>	<p>【算数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計算の方法を理解し、問題を解くこと。 ・<u>文章問題の内容を読み取り、正確に立式すること。</u> ・<u>計算や立式の方法を相手に説明すること。</u> 	<p>【算数】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①朝学習やタブレット端末、プリントなどを使用した反復学習 ②解き方のパターンを提示し、文章問題に繰り返し取り組む指導 ③小グループでの話し合い活動の設定
<p>3 学 年</p>	<p>【国語】</p> <p>○新宿区学力調査では、教科総合、基礎共に区の平均正答率を上回り、観点・領域別にみても全て区平均を上回った。</p> <p>○読むことの学習で、サイドラインの指導を行い、本文に着目し、理解したり想像したりすることを徹底したことで読む力を伸ばすことができた。</p> <p>●書くことが区の平均を上回ってはいないが、48.1ポイントと低い。構成や表現の工夫等の学習を充実させるとともに、主述の呼応等、基本的な文型を身に付けていく必要がある。</p> <p>【算数】</p> <p>○新宿区学力調査では、教科総合、基礎、応用すべてで、区の平均正答率を上回り、観点・領域別にみても全て区平均を上回った。</p> <p>○学力層のD層が36.7%から14.5%まで22.2ポイント減少した。</p> <p>○計算を中心に復習の時間を年間通して確保したことで、基礎的な学力の向上を図ることができた。</p> <p>●学力層のC層が32.3%と依然高水準である。基礎・基本の復習を丁寧に行い、継続的に学力の向上を図る必要がある。</p>	<p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最後まで話の内容を正確に、具体的に聞き取ること。 ・<u>考えた内容を、相手に伝える言葉にして表現し、伝えること。</u> ・文中の言葉から分かることを想像して読むこと。 ・文字の特徴を捉えて正しく丁寧に書くこと。 ・<u>既習の漢字、拗音・促音、カタカナ、「」</u>、句読点の使用を身に付けること。 <p>【算数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>基本的な計算問題を正確に解くこと。</u> ・<u>繰り上がり、繰り下がりのある問題について正しく計算すること。</u> ・長さやかさの単位換算や量感を習得すること。 ・かけ算九九の定着、問題の意味を捉えて立式すること。 ・文章問題について、問われている内容を正確に捉え、問題を解くこと。 	<p>【国語】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①話し方と聞き方の日常指導 ②ペアや小グループなどでの話し合い活動の設定 ③一人読みの時間の確保 ④読みの視点やサイドラインの引き方の提示 ⑤事実やそれ基をもとに考えたことを文章に書く活動 <p>【算数】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①朝学習や家庭学習でのドリル学習 ②デジタル教科書や模型等を活用した数量感覚の涵養 ③数直線、式、言葉、図などを用いて考えを説明する機会の設定
<p>4 学 年</p>	<p>【国語】</p> <p>○学力調査では、総合、基礎共に区の平均正答率を大幅に上回る結果だった。</p> <p>○話し合い活動の設定、継続的な家庭</p>	<p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>必要な内容を正確に読み取り、根拠を明確にして自分の考えをもち、工夫して表現すること。</u> ・文の構造をとらえることや<u>語彙を広げること。</u> ・内容の中心やまとまりを考えて内容を整理し、 	<p>【国語】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①隣同士や小グループなどでの話し合い活動の設定 ②家庭学習による継続的な漢字練習と字形を正しく書くための学習の設定

<p>学習や語彙を広げることが徹底したことで、話すこと・聞くこと、言語理解の力を伸ばすことができた。</p> <p>●全領域で平均を上回ってはいたもの「書くこと」が他を下回っていた。</p> <p>●文章を日常的に書く活動を意図的に設定し、活用する力として定着させる必要がある。</p> <p>【算数】</p> <p>○継続的な計算練習、ドリルパークの活用により、基礎的な学力の向上を図り、区平均を6ポイント以上上回る結果となった。</p> <p>○「図形」の領域の正答率を伸ばすことができた。</p> <p>●「測定」の領域で正答率が他より下回っていたことから、コンパスや分度器などを正確に使用することについて引き続き課題を意図的に設定する必要がある。</p> <p>●思考・判断・表現の正答率が知識・技能よりも20ポイント下回ることから、基礎的な学力を応用し、自分の考えを表現する力を伸ばしていく必要がある。</p>	<p>その理由・事例を明確にして文章にまとめること。</p> <p>・最後まで話の内容を正確に、具体的に聞き取ること。</p> <p>・事実やそれを基に考えた文章を書くこと。</p> <p>【算数】</p> <p>・<u>繰り上がりや繰り下がりがある、桁数が多い等、多様な四則計算について、正確に計算できる技能を身に付けること。</u></p> <p>・数の構成について理解し、数の関係を捉えて式で表現したり、式や図を活用したりして自分の考えを表現すること。</p> <p>・<u>コンパスや三角定規、分度器等を、目的に応じて正確に使用すること。</u></p>	<p>③一人読みの時間の設定</p> <p>④読みの視点やサイドラインの引き方の提示</p> <p>⑤個人・ペア・全体と意見を考え交流する場の意図的設定</p> <p>⑥聞くことに意識を向けるため、話す内容を明確にさせる意図的指導</p> <p>⑦ミニ作文や日記、体験活動の報告や感想など自分のことについて各活動の意図的設定</p> <p>【算数】</p> <p>①家庭学習による継続的な計算練習・ドリル・ドリルパークの活用</p> <p>②視覚的な資料を活用した指導及びデジタルコンテンツの活用</p> <p>③個、グループ、全体での共有時間の確実な設定</p> <p>④コンパスや分度器などの道具を使用する課題の意図的設定</p>
---	--	--

<p>5 学 年</p>	<p>【国語】</p> <p>○学力調査では、教科総合でも基礎・応用別でも区の平均を3～6ポイント上回っている。C層、D層が4年時よりも減っていることから、学力の確実な定着が図られたことが分かる。</p> <p>○学年後半、書くことの学習で筋道だった文章を書く活動を多く取り入れたことにより、課題だった書くことの改善が見られた。</p> <p>●話すこと・聞くこと、読むことが、他領域に比べて低い。言葉を正確に捉えて思考することや言葉の意味を明確にすることなどが必要である。</p> <p>【算数】</p> <p>○学力調査では、教科総合でも基礎・応用別でも区の平均を3～4ポイント上回っている。</p> <p>○家庭学習による復習や単元の終末での習熟練習等により基本的な内容の定着を図れた。</p> <p>●学習内容がより抽象化し難しくなったことでC層D層の割合が増えている。既習事項の定着と活用をさらに進めていく必要がある。</p> <p>●学力調査上は、知識・技能と思考・判断・表現で差は見られないが、授業の中では、思考力の不足を感じる。今後も単元の中で思考場面を多く設定していくことが必要である。</p>	<p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的や意図を考えて、文章を正確に読み取り、根拠を明確にして自分の考えをもち表現すること。 ・<u>主述や修飾被修飾の関係、一文の長さや文章構成などを意識し、自分の考えを筋道立てて説明したり、意味の通る文章にまとめたりすること。</u> ・自分の書いた文章を読み返し、推敲すること。 ・友達との意見交流を通して共通点や相違点に気付くことで、自分の考えを深めること。 <p>【算数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・繰り上がりや繰り下がりのある計算、わり算やかけ算の筆算、小数や分数の計算などの基礎的な問題を正確に解けること。 ・コンパスや分度器を用いて正確に作図ができること。 ・<u>式、図、文などを用いて自分の考えを筋道立てて説明すること。</u> ・友達との意見交流を通し、新たな考えを知ることの楽しさと意義を知ること。 	<p>【国語】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①選択肢の設定と選択の根拠や理由を明確にする指導 ②自分の意見を表現し、伝えるべき相手への意識を明確にもつための指導 ③字形を正しく書くためのポイント指導と読み直す習慣をつけるための時間の設定 ④個人・ペア・全体と意見を考え交流する場の意図の設定 ⑤ドリルパーク「主に言葉に関する内容」に取り組む時間の設定 <p>【算数】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①既知の情報で満足せず、探求したいと感じる課題提示の工夫 ②意見を比較・分類・関連付ける板書の工夫 ③プリントやデジタルドリル問題を活用した既習事項の基礎的な反復練習する機会の設定 ④作図する機会の意図の設定 ⑤作図の際の細部の正確さを促す指導 ⑥多様な論理的な思考を促す思考場面の設定と個の思考時間、グループや全体での共有時間の確実な設定 ⑦意見交流の意義と重要性を、実感を伴った授業展開において伝える工夫
<p>6 学 年</p>	<p>【国語】</p> <p>○学力調査では基礎・応用ともに概ね区平均程度だった。</p> <p>○毎回の授業で自分の考えを話し合う時間を多くとったところ、話し合いは活発に行えるようになった。</p> <p>●基礎のポイントが区平均より0.1ポイント低い。作文や日常会話からも漢字や語彙力の低さを感じる。</p> <p>●言葉や文章を吟味する力はやや低い。</p> <p>【算数】</p> <p>○学力調査では、総合で1.1ポイント、</p>	<p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の中でグループでの話し合いや交流の時間を通して、自分の考えを深めたり、低児童が考える手がかりとしたりすること。 ・持続的・反復的な感じのスキル学習に取り組むこと ・目的や意図、<u>立場や根拠などを明確にして、自分の考えを表現すること。</u> <p>【算数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題について、既習事項などを参考に、自分の 	<p>【国語】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①意図のグループや時間設定での交流活動の設定 ②毎日の家庭学習への漢字学習の導入 ③表現することの意義や楽しさを児童が感じられるような言語活動の設定 <p>【算数】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①十分な課題解決の時間の確保。

	<p>基礎で 1.8 ポイント区平均を上回った。</p> <p>○家庭学習への意欲が全体的に低かったが、学年末は宿題忘れが減った。</p> <p>●応用は区平均を 0.3 ポイント下回っている。</p> <p>●なかなか学習内容が定着せず、その単元のテストはできても、学期末や学年末のまとめテストになると点数が下がってしまう傾向にある。基礎的な内容も取りこぼす児童が多く、放課後等に個別指導を行った。</p>	<p><u>考えを筋道立てて説明すること</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・計算や図形の性質、数量関係など基礎的な技能を身に付けること。 ・器具を用いて正確に作図すること。 	<p>②既習事項のヒントカードやワークシートなどの工夫</p> <p>③家庭学習での基礎基本の反復学習</p>
<p>特別支援</p>	<p>【国語】</p> <p>○読むことの学習では、サイドラインを引くこと、繰り返し音読指導をすることにより、言葉を根拠にして自分の考えをもったり、想像したりして読む力を伸ばすことができた。</p> <p>●ワークシートなどを活用するなど個々の思考時間を工夫し、自分の考えを文章にして表現する力を身に付ける必要がある。</p> <p>【算数】</p> <p>○具体物を用いる学習を繰り返し行うことで、文章問題を理解する力を伸ばすことができた。</p> <p>●既習事項の基礎計算に取り組む時間を計画的に確保し、基礎学力の向上を図る必要がある。</p>	<p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容を正確に読み取り、根拠を明確にして自分の考えをもち表現すること。 ・<u>既習の漢字、新出漢字の読みを身に付けること。</u> <p>【算数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>基礎計算を正確にできるようにすること。</u> ・問題文を正しく読み取り、実生活に結び付けて解けること。 	<p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①読む視点を明確にするためのサイドラインの指導 ②音読指導の計画的設定 ③自分の考えを表現する個々の思考時間の確保 <p>【算数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①継続的な計算練習の時間の確保 ②生活に使用する具体物の提示